

大谷大学博物館 2018年度夏季企画展 「みやこの年中行事」開催

祇園祭、五山の送り火、地蔵盆etc. 古都京都の四季を彩る行事に焦点を当て、江戸時代の絵図、屏風、書物などから、その源流と当時の人々の姿を紹介

【期間】2018年6月12日（火）～7月28日（土）/※入場無料

※6月11日（月）11時～13時 プレス内覧及び学芸員による詳細説明を実施

大谷大学(所在:京都市北区小山上総町)は、大谷大学博物館2018年度夏季企画展「みやこの年中行事」を、2018年6月12日(火)～7月28日(土)まで開催します。

大谷大学博物館は、真宗学・仏教学・歴史学・文学など世界的に貴重な典籍、考古遺物、民俗資料など約12,000点を所蔵。年4回の企画展と年1回の特別展を地域に広く公開し、文化財を間近でみる事ができる博物館です。

本年度の夏季企画展では「みやこの年中行事」をテーマに、京都の年中行事に関する資料約40点を公開し、花祭り(灌仏会)・葵祭(賀茂祭)・祇園祭(祇園御霊会)・六斎念仏・五山の送り火などを取り上げ、その源流と当時の人々の姿を紹介します。

古都京都には四季を彩るさまざまな年中行事が伝わり、今も多くの人々に親しまれています。これらの行事は江戸時代の絵図や地誌などにも描かれており、当時の人々の生活になくてはならない大切なものであったことがうかがえます。



【主な見どころ】

- 「四季のえぞうし」は、江戸時代の庶民の暮らしに根付いた京都の風俗や年中行事「歳旦」「ひなあそび」「灌仏会」「尚武の節句」「祇園会」「月見」「お火炊き」などがいきいきと描かれた色彩豊かな絵巻物です。(写真上)
- 江戸時代後期の京都で活躍した画家・横山崋山筆「賀茂競馬図屏風」。今も上賀茂神社で行われる神事「競馬」を遠近感のある構成で、競馬を見物する人々の様子が生き生きと描いた屏風絵を約10年ぶりに公開。(写真下)
- 江戸時代から町衆・本両替商として繁栄した神田家より譲り受けた「源氏物語図描繪打敷」「有職雛」などを展示します。
- 江戸末期の洛中洛外を描いた多色刷りの古地図「大成京細見絵図」には五山の送り火も表記されており、明治頃まで灯されていた「い」の送り火も確認できます。



企画展に先駆けて、大谷大学博物館・門井慶介PD学芸員がご案内するプレス内覧を、6月11日(月)11時～13時まで実施します。
御取材を希望される方は、6月8日(金)までに添付のFAX返信用紙にてご連絡ください。また画像データ提供、別日での取材希望等のご要望もご相談ください。

<本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先>

大谷大学 企画課 安井・平岡 TEL: 075-411-8115 FAX: 075-411-8149

大谷大学広報デスク (プランニング・ポート内) 福嶋・橋本・古瀬 TEL: 06-4391-7156 FAX: 06-4393-8216

<一般の皆様からのお問合せ先>

大谷大学博物館 TEL: 075-411-8483 http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/

大谷大学博物館 2018夏季企画展「みやこの年中行事」開催概要

- 日時 2018年6月12日(火)～7月28日(土)10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 日曜日・月曜日 (オープンキャンパス開催日の6/10、7/15、8/4～5は10:00～15:00開館)
- 場所 大谷大学博物館(京都市北区小山上総町 大谷大学 響流館1F)
 ※京都市営地下鉄烏丸線国際会館行「北大路」駅下車、6番出口すぐ
 ※市バス「北大路バスターミナル」、「下総町」、「烏丸北大路下車」。

■ 観覧料 無料

■ 展示内容一覧

テーマ	番号	名称	時代	品質	形態	員数	展示期間
年中行事と暦	1	『こよみ便覧』	江戸時代(寛政10年=1798)	紙本木版	冊子	1冊	通期
	2	『増補頒暦略注』	江戸時代(文政11年=1828)	紙本木版	冊子	1冊	通期
京都の年中行事	3	『京羽二重織留』巻1	江戸時代(元禄2年=1689)	紙本木版	冊子	6冊のうち	通期
	4	『都名所車』	江戸時代(文政13年=1830)	紙本木版	冊子	1冊	通期
	5	『都年中参詣記』	江戸時代(天保8年=1837)	紙本木版	冊子	1冊	通期
	6	『四季のえぞうし』(上巻)	江戸時代	紙本彩色	卷子	2巻のうち	期間中巻き替えあり
歳旦	7	『源氏物語屏風』	江戸時代	紙本彩色・金箔	屏風	6曲1隻	通期
	8	『民間年中故事要言』巻1	江戸時代(元禄10年=1697)	紙本木版	冊子	7冊のうち	通期
	9	『民間年中故事要言』巻2	江戸時代(元禄10年=1697)	紙本木版	冊子	7冊のうち	通期
ひなあそび	10	有職雛	江戸時代(19世紀)	布製	人形	1対	通期
	11	『民間年中故事要言』巻3	江戸時代(元禄10年=1697)	紙本木版	冊子	7冊のうち	通期
花見	12	『西行観桜図』	江戸時代(17世紀)	絹本着色	軸装	1幅	通期
	13	『拾遺都名所図会』巻3	江戸時代(天明6年=1786)	紙本木版	冊子	5冊のうち	通期
灌仏会	14	花御堂	平成時代			1式	通期
	15	『増補日本年中行事大全』巻3	江戸時代(天保3年=1832)	紙本木版	冊子	6冊のうち	通期
賀茂祭	16	『競馬図屏風』	江戸時代(19世紀)	紙本彩色	屏風	6曲1隻	通期
	17	『賀茂年中神事秘記』	江戸時代(嘉永5年=1852)	紙本墨書	冊子	1冊	通期
	18	『都名所図会』巻6	江戸時代(天明6年=1786)	紙本木版	冊子	6冊のうち	通期
夏越の祓	19	『名越祓式』	江戸時代(天明7年=1787)	紙本墨書	冊子	1冊	通期
	20	『民間年中故事要言』巻4	江戸時代(元禄10年=1697)	紙本木版	冊子	7冊のうち	通期
祇園会	21	『都名所図会』巻2	江戸時代(天明6年=1786)	紙本木版	冊子	6冊のうち	通期
	22	『増補日本年中行事大全』巻4	江戸時代(天保3年=1832)	紙本木版	冊子	6冊のうち	通期
	23	『四季のえぞうし』(下巻)	江戸時代	紙本彩色	卷子	2巻	期間中巻き替えあり
七夕	24	『和漢三才図会』巻4	江戸時代	紙本木版	冊子	81冊のうち	通期
六斎念仏	25	『拾遺都名所図会』巻1	江戸時代(天明6年=1786)	紙本木版	冊子	5冊のうち	通期
	26	『都名所図会』巻3	江戸時代(天明6年=1786)	紙本木版	冊子	6冊のうち	通期
	27	『名所手引京図鑑綱目』	江戸時代(天明7年=1787)	紙本着色	継紙	1冊	～6/30
五山送り火	28	『大成京細見絵図』	江戸時代(元治元年=1864)	紙本木版	継紙	1冊	7/3～
	29	『民間年中故事要言』巻5	江戸時代(元禄10年=1697)	紙本木版	冊子	7冊のうち	通期
盂蘭盆	30	『盆供施餓鬼問辨』	江戸時代(明和6年=1769)	紙本木版	冊子	1冊	通期
	31	『日次紀事』巻4	江戸時代	紙本墨書	冊子	6冊のうち	通期
地蔵祭	32	『拾遺都名所図会』巻4	江戸時代(天明6年=1786)	紙本木版	冊子	5冊のうち	通期
	33	『増補日本年中行事大全』巻5	江戸時代(天保3年=1832)	紙本木版	冊子	6冊のうち	通期
紅葉	34	『白平織地源氏物語図描絵打敷』	江戸時代(嘉永5年=1852)	絹地着色	打敷	1点	通期
報恩講	35	『御堂年中行事』	江戸時代(寛政11年=1799)	紙本墨書	冊子	1冊	通期
お火焚き	36	『天和長久四季あそび』(複製)	原品:江戸時代	紙本木版	冊子	1冊	通期
煤払い	37	『御煤払竹来由故実記』	江戸時代(嘉永2年=1849)	紙本墨書	冊子	1冊	通期
	38	玄魚	昭和時代(昭和3年=1928)	藁	草履	2足	通期
歳末	39	『人倫訓蒙図彙』巻7(複製)	原品:江戸時代	紙本木版	冊子	7冊のうち	通期
	40	『日次紀事』巻6	江戸時代	紙本墨書	冊子	6冊のうち	通期



06「四季のえぞうし」上巻 1巻 大谷大学博物館蔵
紙本彩色 江戸時代

一年間の月々の行事を描く月次絵の一つで、京都の風俗や年中行事を描いた絵巻物。季節ごとに行事に興ずる人々の姿が描かれ、詞書には行事の由来や和歌などが載せられる。上巻には、正月の歳旦から6月の祇園御霊会の様子が描かれている。

16「競馬図屏風」 6曲1隻 大谷大学博物館蔵
紙本彩色 横山華山筆 江戸時代(19世紀)

江戸時代後期に京都で活躍した画家である横山華山筆の競馬図屏風。競馬は現在も5月5日に上賀茂神社で行われている神事で、その勇壮な儀式は京都の初夏の風物詩ともいえる。遠近観のある表現の画面構成で、競馬を見物する大勢の人々の様子が生き生きと描かれている。

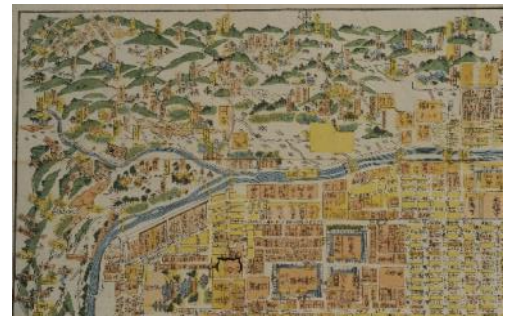


22『増補日本年中行事大全』巻4 大谷大学図書館蔵
紙本木版 江戸時代(天保3年=1832)

速水春暁斎著、森川保之画による諸国の年中行事一覧で、同著『諸国図会年中行事大成』の続編ともいえる。日本全国で行われる年中行事について宮中・寺院・民間それぞれを取り上げ、簡潔に紹介する。展示箇所は祇園御霊会の挿絵。人々が町屋の屋根の上から長刀鉾を見物している様子が描かれている。

29「大成京細見絵図」 1舗 大谷大学博物館蔵
紙本色刷 江戸時代(元治元年=1864)

江戸時代末期の洛中洛外の様子を描いた多色刷りの古地図。洛中の町名を載せるほか主な寺社などについても詳細に記載する。「左大文字」「右大文字」「妙」「法」「舟形」「鳥居」「い(かながしら)」などの送り火は、それぞれの山の頂上付近に赤く色づけられて表記されており、当時も広く認識されていたことが分かる。なお「い」は市原野で明治頃まで灯されていたとされる。



31「白平織地源氏物語図描絵打敷」(野分) 1枚
大谷大学博物館蔵 絹本著色 江戸時代(嘉永5年=1852)

打敷とは仏前の卓を覆う布のこと。本品は文久元年(1861)の親鸞聖人六百回忌を迎えるにあたり制作された。『源氏物語』の春の「若菜」と秋の「野分」を描く。展示箇所は紅葉のなかで虫かごと童女を描いていることから、「野分」の夕霧が秋好中宮を見舞った場面の一部を描いたことがわかる。京都の町衆、神田家伝来。

【FAX返信先：06-4393-8216】

〈FAX返信用紙〉

大谷大学 広報デスク
(プランニング・ポート内) 福嶋・橋本・古瀬 宛

大谷大学博物館 2018年度夏季企画展 「みやこの年中行事」開催

祇園祭、五山の送り火、地蔵盆etc.古都京都の四季を彩る行事に焦点を当て、
江戸時代の絵図、屏風、書物などから、その源流と当時の人々の姿を紹介

【期間】2018年6月12日（火）～7月28日（土）/※入場無料

※6月11日（月）11時～13時 プレス内覧及び学芸員による詳細説明を実施

ご取材

(6月11日（月）11時～13時 その他日程__月__日)

媒体名		
御社名		
部署名		
ご芳名	計 _____ 名様	
連絡先	TEL	FAX
当日のご連絡先	携帯TEL	
《備考欄》 ご取材につき、ご要望・ご質問等ございましたら、ご記入願います。		

6/11(月)に御取材を希望される方は、6月8日(金)までに添付のFAX返信用紙にてご連絡ください。
別日での取材希望等のご要望は、2日前(土、日、祝除く)までにご回答願います。